

伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和4年6月1日現在)

【基本方針1】誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出(施策の方向I 心の豊かさを目指して、II 文化芸術をすべての市民に)																	
No.	事業名	事業課	基本方針	事業目的	R2		R3		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画	まちづくりアンケート				
					計画時	R2 実績	計画時	R3 実績					R1	R2	R3速報値		
1	多文化共理解講座 『ベトナムworldへようこそ』	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 2-I 3-I 3-II 6-I 7-I 7-II	伊賀市で住む外国人のうち約20%がベトナム人です。彼らの文化や生活の状況などを身近に知ってもらうための講座です。また、地域の外国人がプレゼンテーションを行うことにより外国人の活躍場を提供します。	参加者数	15人	14人	-	-	コロナ禍の状況から実施なし。			6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%
					開催数	2回	1回	-	-					参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	-	-	-	-								
					収入	0円	0円	-	-								
					収入	0円	0円	-	-								
2	多文化共理解講座 『春節の文化と台東県の紹介』	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 3-I 3-II 6-I 7-I	中国の正月に当たる旧正月の風習の紹介と、MOU協定をしている台湾台東県DVDで観光紹介とお茶を紹介した。	参加者数	15人	15人	-	-	コロナ禍の状況から実施なし。			6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%
					開催数	1回	1回	-	-					参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	20,000円	20,000円	-	-								
					収入	0円	0円	-	-								
					収入	0円	0円	-	-								
3	多文化共理解講座 『春節の文化と台東県の紹介』	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 3-I 3-II 6-I 7-I 7-II	アジアの国では旧正月を祝う文化が根強く残っています。中国の正月飾りなどを紹介するとともにワークショップを行い外国人が大切にしている文化を学ぶ。また、伊賀市在住の中国人たちが旧正月を同朋とともに祝い、子どもたちへ自国文化に触れさせる機会を提供	参加者数	15人	20人	-	-	コロナ禍の状況から実施なし。			6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%
					開催数	1回	1回	-	-					参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	0円	0円	-	-								
					収入	0円	0円	-	-								
					収入	0円	0円	-	-								
4	多文化共理解講座 『日本の文化を体験しよう』	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 5-II 7-I 7-II	外国人に日本文化の1つである生け花を体験し、日本の行事や四季植物に関心を持ってもらう。	参加者数	15人	15人	-	-	コロナ禍の状況から実施なし。			6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%
					開催数	3回	3回	-	-					参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	30,000円	30,000円	-	-								
					収入	30,000円	30,000円	-	-								
					収入	0円	0円	-	-								
5	多文化共理解講座 『礼儀作法とお茶』	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 5-II 7-I 7-II	外国人に日本文化の1つであるお茶の文化と和室での礼儀作法などを体験する。外国人の子どもにとってなじみのない量の上での作法や茶道について関心を持ってもらう。	参加者数	-	-	-	-	コロナ禍の状況から実施なし。			6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%
					開催数	-	-	-	-					参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	-	-	-	-								
					収入	-	-	-	-								
					収入	-	-	-	-								
6	語学教室	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 7-I 7-II	異文化理解のきっかけとなるコミュニケーション支援の一環として、語学教室を開催。	参加者数	-	0人	-	-	コロナ禍の状況から実施なし。			6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%
					開催数	-	0回	-	-					参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	-	0円	-	-								
					収入	-	0円	-	-								
					収入	-	0円	-	-								
7	伊賀市国際交流フェスタ2021	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 5-I	在住外国人と地域住民の交流の場を提供し、市民の国際意識の向上と相互理解、友好交流を深め、多文化共生社会の構築を目指す。	参加者数	-	150人	154人	154人	在住外国人が進んで市民と交流の場を作ろうとする積極的な動きがみられ、日本人と外国人が協力して作りあげた大変友好的な催しとなった。コロナウイルス感染拡大防止のため、展示等資格を通して日本と世界の文化の違いを訴えることに重点を置いた。	継続		6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%
					開催数	-	1回	1回	1回					参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	-	500,000円	500,000円	500,000円								
					収入	-	0円	0円	0円								
					収入	-	0円	0円	0円								
8	多文化共生事業 『伊賀の組紐をつくらう』	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 5-I	外国人につながる市民に日本文化・伊賀の工芸品について知ってもらい、伝統産業について学ぶ。	参加者数	-	15人	15人	15人	ブラジル、ペルー、キルギス、日本人15名の参加があった。組紐センター職員の講義や展示品の説明、組織の体験を通して、日本文化の理解促進が図れた。組織の体験では、互いに教え合う等、参加者同士のコミュニケーションが図れた。	他事業との組合せ		6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%
					開催数	-	1回	1回	1回					参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	-	17,060円	15,960円	15,960円								
					収入	-	7,500円	7,000円	7,000円								
					収入	-	0円	0円	0円								
9	「世界とつながる写真展」	人権生活環境部 多文化共生課	1-I 1-II 2-I 2-II 5-I	世界に目を向け、国際意識を高め異文化に視覚的に触れる機会をつくる。	参加者数	-	150人	250人	250人	伊賀市には40か国以上の外国人が暮らしているが、展示写真から日本との生活程度の違いや文化の違いを読み解くことができ、世界の文化の多様性を発信することができた。また、多文化共生センターだけでなく市役所の市民ギャラリーでも開催したことにより、より多くの市民の方に異文化に触れる機会を提供することができた。	継続		6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%
					開催数	-	2回	2回	2回					参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	-	-	-	-								
					収入	-	-	-	-								
					収入	-	-	-	-								
10	伊賀市民美術展覧会 (市展「いが」)	企画振興部 文化振興課	1-I 1-II 2-II 3-I 4-I 5-II 7-I	市民の造形芸術の創作意欲を高めていただくとともに、市民文化の向上に寄与する	参加者数	1,400人	1,115人	1,400人	1,043人	若者の作品出展支援により、高校生の出展が大幅に増えた。(昨年度20人、今年度54人。)	継続		6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%	57.3%
					開催数	1回	1回	1回	1回					参画度	44.6%	55.7%	33.9%
					開催経費	519,000円	518,610円	556,000円	562,194円								
					収入	-	-	-	400,000円								
					収入	-	-	-	-								
11	伊賀市民文化祭	企画振興部 文化振興課	1-I 1-II 3-I 7-I 7-II	文化芸術活動に取り組む市民の日頃の活動の成果を発表する場として開催することで、市民の文化意識と活動の向上を図る。	参加者数	2,000人	500人	2,000人	2,744人	コロナ禍においても染拡大防止のため対策を行い、市民の文化芸術活動の発表の場と文化芸術に触れる場を確保することができた。	継続		6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%	57.3%
					開催数	1回	1回	1回	1回					参画度	44.6%	55.7%	33.9%
					開催経費	1,756,000円	503,660円	1,745,000円	1,965,000円								
					収入	400,000円	64,500円	400,000円	306,167円								
					収入	-	-	-	-								
12	三重県立美術館友の会美術セミナー	企画振興部 文化振興課	1-I 2-II 5-II	県立美術館で実施される展覧会に際してある講座を伊賀市で開催することにより、よりバリエーションに富んだ文化芸術に触れる機会を提供する	参加者数	30人	24人	-	-	(不定期開催のためR3は実施しない)			6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%	57.3%
					開催数	1回	1回	-	-					参画度	44.6%	55.7%	33.9%
					開催経費	0円	0円	-	-								
					収入	0円	0円	-	-								
					収入	0円	0円	-	-								
13	本庁舎市民ミニギャラリー	企画振興部 文化振興課	1-I 3-II 4-I 4-II 5-II 7-I	市民に広く絵画等の展示場を提供することで、市民の文化芸術活動の発表の場を確保するとともに文化芸術に触れる機会を創出する。	参加者数	-	-	-	-	絵画等の展示を行い、市民の文化芸術活動の発表の場と文化芸術に触れる機会を提供することができた。	継続		6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%	57.3%
					開催数	12回	11回	12回	12回					参画度	44.6%	55.7%	33.9%
					開催経費	0円	0円	0円	0円								
					収入	0円	0円	0円	0円								
					収入	0円	0円	0円	0円								
14	バーチャル美術館	企画振興部 文化振興課	1-I 1-I 5-II	誰もが文化芸術に触れ合える機会の創出に向け、コロナ禍により文化芸術の楽しみ方が多様化し、インターネット上でバーチャル技術を活用して疑似体験する取り組みが始まっていることから、市においても寄贈された芸術作品を展示するバーチャル美術館を構築する。	参加者数	-	-	-	-	(R2,R3は事業計画なし)			6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%	57.3%
					開催数	-	-	-	-					参画度	44.6%	55.7%	33.9%
					開催経費	-	-	-	-								
					収入	-	-	-	-								
					収入	-	-	-	-								
15	青山ふるさと美術文化展覧会	教育委員会事務局 生涯学習課	1-I 3-II 4-I 4-II 5-II 7-I	青山地区住民の作品の発表の場とし、創作意欲を高めるとともに、地域の美術文化の向上に寄与する。	参加者数	-	-	200人	328人	昨年度はコロナ禍で実施できなかったが、本年度は「発表の場がある」と喜ばれ、積極的な参加者が多かった。	継続		6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%	57.3%
					開催数	-	-	1回	1回					参画度	44.6%	55.7%	33.9%
					開催経費	-	-	0円	0円								
					収入	-	-	0円	0円								
					収入	-	-	0円	0円								

伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和4年6月1日現在)

【基本方針2】子どもたちが文化芸術を体感できる機会の拡充(施策の方向Ⅰ子どもたちの心を豊かに、Ⅱ成長に即した文化芸術の提供)																				
No.	事業名	事業課	プラン 基本方針	事業目的	R2		R3		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート							
					計画時	実績	計画時	実績					R1	R2	R3速報値					
16	読み聞かせ会	教育委員会事務局 上野図書館	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 3-Ⅱ 4-Ⅰ 7-Ⅰ	幼い頃から、読み聞かせをすることで、言葉やおはなしの世界を知り、本に親しむ機会を作る。また、図書館(室)での読み聞かせ会に参加することで、絵本や本、図書館に親しみをもち、読書や図書館利用につなげていく。	参加者数	-	2,002人	-	2,723人	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした回があり、効率的な中止連絡が必要と感じた。 ・参加者が低年齢化傾向にある。 ・コロナ禍の状況から実施なし。	継続	-	5-5 生涯学習	満足度	38.8%	48.5%	47.9%			
					開催数	162回	115回	162回	112回					-	-	-	参画度	28.9%	40.2%	32.4%
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											
17	子どもの学習支援「子ども俳句教室」	人権生活環境部 多文化共生課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅱ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	伊賀市の小中学校では、夏休みに俳句の宿題があるが日本語になじみの少ない家庭や語彙が少ない外国人の子どもにとっては困難な課題である。母語のサポートを受けながら、俳句の作り方などを学び、宿題提出の支援を行う。また、日本語の文化に触れる機会を創出する。	参加者数	-	-	-	-	(コロナ禍の状況を見ながら今後、実施)	-	-	6-2 多文化共生	満足度	49.3%	58.7%	62.6%			
					開催数	-	-	-	-					-	-	-	参画度	31.6%	52.5%	41.6%
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											

【基本方針3】担い手や後継者を育成し次世代へと繋ぐ(施策の方向Ⅰ人づくりとまちづくり、Ⅱ多様な人材活用による文化芸術の振興)																				
No.	事業名	事業課	プラン 基本方針	事業目的	R2		R3		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート							
					計画時	実績	計画時	実績					R1	R2	R3速報値					
18	ゆめテクノ伊賀子ども大学 Science Lab	産業振興部 商工労働課	2-Ⅰ 3-Ⅰ	伊賀地域の子どもたちに科学に興味を持たせ、将来地域に貢献できるような人材育成を図るとともに、ゆめテクノ伊賀をPRする。	参加者数	-	-	-	-	-	-	-	3-5 商工業・産業立地	満足度	20.4%	40.4%	39.7%			
					開催数	-	-	-	-					-	-	-	参画度	61.7%	58.2%	45.4%
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											
19	伊賀の伝統文化親子体験フェスタ2022～伝統的工芸品から学ぶ～	産業振興部 商工労働課	2-Ⅰ 3-Ⅰ	次代を担う子どもたちに対して、地方公共団体や伝統文化、生活文化及び国民娯楽の指導者等が一体となって、伝統文化等を体験・習得できる機会を設け、子どもたちの体験機会を拡充し、併せて地域文化・地域人材の発掘を目的とする。	参加者数	-	-	-	-	(R2,R3は事業計画なし)	-	-	-	満足度	-	-	-			
					開催数	-	-	-	-					-	-	-	参画度	-	-	-
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											
20	獅子神楽の継承活動	教育委員会事務局 生涯学習課	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 5-Ⅰ 7-Ⅰ	伝統芸能(獅子神楽)の継承、郷土文化に愛着を持つ子どもの育成と仲間づくりを図る。	参加者数	150人	27人	150人	156人	コロナ禍で開催が制限される中、できる限り活動を行う事ができた。	継続	-	6-4 歴史・文化遺産	満足度	58.8%	67.2%	63.5%			
					開催数	7回	1回	7回	8回					-	-	-	参画度	36.3%	52.4%	37.4%
					開催経費	80,000円	0円	80,000円	0円											
					収入	80,000円	0円	80,000円	0円											
21	伊賀市子ども能楽教室	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	伊賀市は能楽創世観阿弥の生誕地と言われており、毎年秋に開催される上野城新能は35年以上の歴史がある。こうした地域の文化や伝統芸能を次世代に継承していくことを目的として、子ども能楽教室を開催する。	参加者数	-	-	-	-	(R2,R3は事業計画なし)	-	-	-	満足度	-	-	-			
					開催数	-	-	-	-					-	-	-	参画度	-	-	-
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											
22	上野城新能	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	能楽創世観阿弥の生誕地である伊賀市において、毎年中秋の名月の頃に行われる上野城新能を開催することで、伝統文化の継承、発信を図るとともに、市民等が伝統文化に触れる機会を創出する。	参加者数	-	-	-	-	(R2,R3はコロナ禍の状況から実施なし)	-	-	-	満足度	-	-	-			
					開催数	-	-	-	-					-	-	-	参画度	-	-	-
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											

【基本方針4】施設の整備・有効活用による文化芸術環境の整備(施策の方向Ⅰ施設の管理と機能の発揮、Ⅱ施設の保存と有効活用)																				
No.	事業名	事業課	プラン 基本方針	事業目的	R2		R3		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート							
					計画時	実績	計画時	実績					R1	R2	R3速報値					
23	史跡芭蕉翁生家改修事業	企画振興部 文化振興課	4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	経年劣化等で建物が傾くなどしており、観覧施設としての安全性確保と文化財保存を目的とした保存改修工事を行う。	参加者数	-	-	-	-	解体後に判明した腐朽化箇所が設計時の想定より多く工期と費用の調整が課題となった。	継続	-	6-3 文化・芸術	満足度	43.2%	64.6%	57.3%			
					開催数	-	-	-	-					-	-	-	参画度	44.6%	55.7%	33.9%
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											
24	文化ホール改修事業	企画振興部 文化振興課	4-Ⅰ 4-Ⅱ	新型コロナウイルス感染症対策として、伊賀市文化会館ロビー、楽屋等の空調設備改修を行う。	参加者数	-	-	-	-	伊賀市文化会館等の文化ホールは経年による施設の老朽化が進んでおり、計画的な設備更新、施設改修を行う必要がある。	継続	-	-	満足度	-	-	-			
					開催数	-	-	-	-					-	-	-	参画度	-	-	-
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											
25	文化施設改修事業	企画振興部 文化振興課	4-Ⅰ 4-Ⅱ	新型コロナウイルス感染症対策のため、養虫庵のトイレを洋式化、非接触化するための改修工事を行う。また、経年劣化等で損傷の激しい伊賀市ミュージアム青山讀頌舎の板塀の改修工事を行う。	参加者数	-	-	-	-	養虫庵のトイレ改修は、入札手続きの不調等により令和4年度に実施延期した。	継続	-	-	満足度	-	-	-			
					開催数	-	-	-	-					-	-	-	参画度	-	-	-
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造(施策の方向Ⅰ郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ新しい文化芸術の創造)																				
No.	事業名	事業課	プラン 基本方針	事業目的	R2		R3		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート							
					計画時	実績	計画時	実績					R1	R2	R3速報値					
26	デジタルミュージアム 秘蔵の国伊賀	教育委員会事務局 上野図書館	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 3-Ⅰ 3-Ⅱ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ 6-Ⅰ 6-Ⅱ	伊賀市等が所蔵する多くの歴史資料等をインターネット上で公開することで、子どもたちが学校の授業で学ぶとともに、地域においても文化活動として役立てていただくため、また、全国の人に伊賀の歴史や文化を知っていただくため、魅力発信ツールとして活用していく。	参加者数	-	52,907アクセス	-	223,869アクセス	・貴重な資料をインターネットにより多くの方に見てもらえることができた。 ・市民に更なる周知が必要。 ・学習や研究、観光などにおいて更なる活用を促す必要がある。	継続	-	5-5 生涯学習	満足度	38.8%	48.5%	47.9%			
					開催数	-	-	-	-					-	-	-	参画度	28.9%	40.2%	32.4%
					開催経費	11,975,000円	12,272,260円	11,975,000円	11,934,320円											
					収入	-	12,094,150円	-	-											
27	郷土の歴史夜咄会	教育委員会事務局 上野図書館	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 3-Ⅰ 3-Ⅱ 4-Ⅰ 5-Ⅰ 5-Ⅱ	郷土史を次世代に伝え、研究する人材を育むことを目的に、学びの機会を提供するため。	参加者数	360人	215人	-	154人	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場をハイピア伊賀へ変更して実施した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2回中止となった。 ・高齢の方の参加割合が高い。	継続	-	-	満足度	-	-	-			
					開催数	9回	6回	6回	5回					-	-	-	参画度	-	-	-
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											
28	歴史貴重資料企画展示	教育委員会事務局 上野図書館	1-Ⅰ 1-Ⅱ 2-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ	伊賀市上野図書館が所蔵する貴重な歴史資料をテーマを決め、展示することで、郷土の歴史や文化について知る機会を設ける。また、展示により郷土への愛着心や興味を養い、調べ物や貸出にもつなげていくため。	参加者数	-	-	-	-	新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館や利用制限等のため、企画展示の回数が減った。	継続	-	-	満足度	-	-	-			
					開催数	6回	4回	6回	4回					-	-	-	参画度	-	-	-
					開催経費	-	-	-	-											
					収入	-	-	-	-											

伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和4年6月1日現在)

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造(施策の方向Ⅰ 郷土が育んできた歴史・文化の再評価、Ⅱ 新しい文化芸術の創造)																	
No.	事業名	事業課	基本方針	事業目的	R2		R3		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート				
					計画時	R2 実績	計画時	R3 実績					R1	R2	R3速報値		
29	親子で歩こう!秋の城下町	教育委員会事務局 生涯学習課	1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	小学生とその保護者を対象に開催し、伝統文化に関する学びや施設見学を通して自分たちの地域に誇りを持ち、伝統文化に関心を持つ機会とする。	参加者数 20人 開催数 1回 開催経費 0円 収入 0円	14人 1回 0円 0円	25人 1回 0円 0円	15人 1回 0円 0円	上野天神祭の開催に併せて城下町を散策することで、スライド学習などで学んだことをより深く理解することができた。 伝統文化の継承に繋げるためには、地域や学校等と連携し、更に関心を持ってもらえる取り組みが必要である。	継続	25人 1回 0円 0円	5-5 生涯学習	満足度 参画度	38.8% 28.9%	48.5% 40.2%	47.9% 32.4%	
30	ふるさと学習事業	教育委員会事務局 生涯学習課	1-Ⅱ 2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	子どもたちが心身ともにゆとりのある生活を送るため、郷土の産業や伝統文化・環境などの体験を通し、ふるさとの良さを再発見するとともに、多くの友達との仲間づくりの機会を与えることを目的とする。	参加者数 200人 開催数 7回 開催経費 100,000円 収入 100,000円	49人 3回 117,092円 117,092円	140人 7回 100,000円 100,000円	98人 4回 68,644円 68,644円	地域の伝統文化を継承すると共に、わら細工の体験を通して世代間交流の機会を持つことができた。	継続	140人 7回 100,000円 100,000円						
31	芭蕉祭(式典・月見の献立・全国俳句大会等)	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 6-Ⅰ 6-Ⅱ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	俳聖松尾芭蕉の功績を称え偉業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進める。	参加者数 500人 開催数 1回 開催経費 10,487,000円 収入 0円	180人 1回 9,788,415円 9,788,415円	10人 1回 10,558,000円 10,558,000円	7人 1回 10,308,000円 10,308,000円	コロナ禍のため状況により開催規模や内容を変更するなどの対応が今後も必要である。	継続	200人 1回 9,423,000円 0円	6-3 文化・芸術	満足度 参画度	43.2% 44.6%	64.6% 55.7%	57.3% 33.9%	
32	芭蕉翁俳句懸垂幕掲示	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ 6-Ⅰ 6-Ⅱ	芭蕉翁の生誕地であることをPRするとともに、市民等に芭蕉の句に親しんでもらうことを季節に合った「芭蕉の俳句」の懸垂幕を掲示し啓発に努める。	参加者数 - 開催数 4回 開催経費 132,000円 収入 0円	- 0回 0円 0円	- 4回 132,000円 0円	- 0回 0円 0円	新型コロナウイルス感染症が広まったため、俳句啓発の掲示は不適切との指摘があり、掲示を控えていた。時期を見計らって再開したい。	継続	- 4回 132,000円 0円						
33	芭蕉翁記念館ギャラリートーク	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 3-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ 6-Ⅰ	芭蕉翁記念館の展示について解説し理解を深めてもらうとともに、展示の観覧に付加価値を与えリピーターの増加を図る。	参加者数 - 開催数 12回 開催経費 0円 収入 0円	- 12回 0円 0円	65人 13回 0円 0円	88人 11回 0円 0円	新型コロナウイルス感染症による、休館およびギャラリートークの中止があった。他、予定通りに実施。ボランティアガイドさん中心の参加が状態化していたが、ギャラリートークの認知度が上がり、参加者も多様化してきた。	継続	80人 12回 0円 0円						
34	元永定正生誕100年記念展覧会	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 1-Ⅱ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	子どもをはじめとした市民が、元永定正氏の高度な芸術作品に触れる機会を創出し文化振興につなげるとともに、作品の背景や人物像を発信することで、シビックプライドの醸成を図る。また、SNSなどを通じて元永定正氏の「ふるさと」としてアピールし、コロナ禍で低下した文化芸術活動や観光誘客の活性化につなげる。	参加者数 - 開催数 - 開催経費 - 収入 -	(不定期開催のためR2.R3は実施なし)	(不定期開催のためR2.R3は実施なし)	(不定期開催のためR2.R3は実施なし)		新規	3,000人 1回 8,359,600円 3,500,000円						
35	投句箱事業	伊賀支所	1-Ⅰ 5-Ⅰ 6-Ⅰ	管内観光施設5カ所に投句箱を設置しており、観光及び文化の発信に寄与	参加者数 200句 開催数 通年 開催経費 49,000円 収入 0円	94句 通年 28,000円 28,000円	200句 通年 49,000円 49,000円	78句 通年 28,470円 28,470円	コロナ禍での観光客数が減った。	他事業との組合せ	- - - -						
36	しぐれ忌	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 6-Ⅰ 6-Ⅱ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	俳聖松尾芭蕉の功績を称え偉業を偲び、俳諧及び俳句の啓発と、芭蕉翁生誕地のPRを進める。	参加者数 150人 開催数 1回 開催経費 - 収入 0円	95人 1回 - -	100人 1回 0円 0円	50人 1回 0円 0円	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため対策を行うことで、継続して実施することができた。	継続	100人 1回 0円 0円						
37	しぐれ忌俳句大会	伊賀支所	1-Ⅰ 5-Ⅰ	俳句啓発、文化交流に寄与すること	参加者数 120人 開催数 1回 開催経費 290,000円 収入 20,000円	59人 1回 280,000円 8,000円	120人 1回 290,000円 20,000円	0人 0回 924円 0円	コロナ禍で中止。芭蕉祭の俳句大会と統合したい。	継続	120人 1回 290,000円 20,000円						
38	土芳を偲ぶ俳句会	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 2-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ 6-Ⅰ 6-Ⅱ 7-Ⅰ 7-Ⅱ	芭蕉翁とその弟子である土芳の功績を世に発信し、俳諧及び俳句の啓発を推進する。	参加者数 30人 開催数 1回 開催経費 - 収入 0円	0人 0回 0円 -	30人 1回 0円 0円	35人 1回 0円 0円	・前年度は新型コロナウイルス感染防止のため中止したが、今年度は感染防止対策を行うことで実施することができた。	継続	30人 1回 0円 0円						
39	文部科学大臣賞選考・歌枕俳枕講座	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 5-Ⅰ 6-Ⅰ 6-Ⅱ 7-Ⅰ	芭蕉顕彰の一環として、連句、俳諧、俳句などの俳文学関係著書優秀作を表彰し、俳句啓発に繋げる。	参加者数 200人 開催数 1回 開催経費 - 収入 0円	0人 0回 0円 -	200人 1回 0円 0円	25人 1回 - -	コロナ禍のため、講演日を延期して実施した。WEB配信と合わせて実施したことで遠方の方も参加された。	継続	200人 1回 0円 0円						
40	文学振興事業	企画振興部 文化振興課	1-Ⅰ 2-Ⅰ 3-Ⅱ 5-Ⅰ 5-Ⅱ 7-Ⅰ	伊賀にゆかりの作家、作品の顕彰等を通じて、地域文化としての文学の振興を図る。	参加者数 - 開催数 1回 開催経費 400,000円 収入 -	- 1回 400,000円 -	- 1回 400,000円 -	- 1回 400,000円 -	・コロナ禍において感染対策を行うことで「雪解のつどい」の実施や「マイ・ストーリー伊賀」の作品集の増刷を行う事ができた。	継続	- 1回 2,266,200円 -						
41	いがまち3偉人展示	伊賀支所	2-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	文豪横光利一、俳聖松尾芭蕉、医学博士橋本策の偉業を讃え、顕彰を行う。	参加者数 200人 開催数 - 開催経費 - 収入 -	200人 - - -	200人 通年 - -	50人 通年 - -	コロナ禍の影響もあり計画より見学者が少ない。今後は周知に努めたい。	継続	50人 通年 - -						
42	上野天神祭お囃子体験会	教育委員会事務局 文化財課	3-Ⅰ 3-Ⅱ	江戸時代から語り継がれてきた無形民俗文化財の継承(上野天神祭祭費補助の活用事業)	参加者数 - 開催数 - 開催経費 - 収入 -	(R2は事業計画なし)	10人 1回 0円 0円	8人 1回 0円 0円	コロナ禍でも子どもの学びの場を止めないでほしいという保護者の感想には胸を打たれ、実施する意義を再認識させられた。	継続	10人 1回 0円 0円	6-4 歴史・文化 遺産	満足度 参画度	58.8% 36.3%	67.2% 52.4%	63.5% 37.4%	
43	親子で歩こう!秋の城下町	教育委員会事務局 文化財課	2-Ⅰ 2-Ⅱ 5-Ⅰ	上野城下町や上野天神祭に触れ親しみ合う機会づくりの提供(上野天神祭祭費補助の活用事業)	参加者数 20人 開催数 1回 開催経費 - 収入 -	14人 1回 - -	20人 1回 0円 0円	15人 1回 0円 0円	今回は、内容が盛りだくさん過ぎたが非常に子どもたちに喜んでもらった。次年度はもう少し的を絞って実施したい。	継続	20人 1回 0円 0円						
44	オオサンショウウオ観察会	教育委員会事務局 文化財課	2-Ⅰ 4-Ⅰ 4-Ⅱ 5-Ⅰ	特別天然記念物に触れ親しみ合う機会づくりの提供	参加者数 - 開催数 - 開催経費 - 収入 -	(R2は事業計画なし)	10人 1回 9,000円 9,000円	4人 1回 7,258円 7,258円	今年も含め、近年は河川増水による中止が続いている。令和3年度は、大山田郷土資料館でぬいぐるみを使ってオオサンショウウオの説明、企画展の解説などを実施した。	継続	10人 1回 9,000円 0円						

伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和4年6月1日現在)

【基本方針5】歴史と風土が育む文化芸術の継承と新たな文化芸術の創造 (施策の方向 I 郷土が育んできた歴史・文化の再評価、II 新しい文化芸術の創造)																	
No.	事業名	事業課	プラン 基本方針	事業目的	R2		R3		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート				
					計画時	実績	計画時	実績					R1	R2	R3速報値		
45	文化財特別公開	教育委員会事務局 文化財課	1-I 2-I 4-II 5-I	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、文化財の所有者等の協力により文化財の公開等を実施し、伊賀市の歴史や文化を理解を深め、文化財の保存と継承を図りたい。	参加者数	30人	0人	30人	-	新型コロナウイルス感染拡大防止により具体的な講座の実施には至っていない。	継続	30人 1回 0円 0円	6-4 歴史・文化 遺産	満足度	58.8%	67.2%	63.5%
					開催数	1回	0回	1回	-					参画度	36.3%	52.4%	37.4%
					開催経費	0円	0円	0円	-								
					収入	0円	0円	0円	-								
46	史跡伊賀国庁跡にかかる文化財ウォーク及び文化財講演会	教育委員会事務局 文化財課	1-I 2-I 5-I	史跡伊賀国庁跡は伊賀市坂之下に所在する古代伊賀国の役所跡である。平成21年7月に国史跡に指定され、「保存管理計画」や「保存整備活用基本計画」の策定、史跡内の公有化と保存整備事業を実施している。史跡伊賀国庁跡や府中地区の歴史・文化の理解を深め、文化財の保存と継承を図っていくため、文化財ウォーク(秋)と文化財講演会(冬)を実施している。	参加者数	30人	0人	40人	-	文化財ウォーク1回、文化財講演会1回を予定。新型コロナウイルス感染拡大防止により参加者の減少、未実施となっている。	継続	40人 2回 0円 0円		満足度			
					開催数	1回	0回	2回	-								
					開催経費	0円	0円	0円	-								
					収入	0円	0円	0円	-								
47	文化財連続講座	教育委員会事務局 文化財課	1-I 2-I 5-I	伊賀市は古代伊賀国より都に隣接した地域であり歴史や文化が豊かに残されている。数多く残された文化財の保存と継承には地域の理解や協力が不可欠であり、身近な文化財等を題材としながら伊賀市の歴史や文化を理解を深め、文化財の保存と継承を図りたい。	参加者数	30人	0人	50人	-	新型コロナウイルス感染拡大防止により具体的な講座を実施できなかった。	継続	50人 1回 0円 0円		満足度			
					開催数	1回	0回	1回	-								
					開催経費	0円	0円	0円	-								
					収入	0円	0円	0円	-								
48	三重県指定有形文化財(建造物)春日神社拝殿保存修理事業にかかる公開講座	教育委員会事務局 文化財課	1-I 2-I 4-I 5-I	春日神社拝殿は建設年代が室町時代に遡る三重県内で最古級で大型の拝殿である。過去の修理から300年が経過し、経年劣化が著しくなったため根本的な修理が必要となった。平成28年度から拝殿を解体し、部材補修のうえ、組み上げる保存修理事業を実施している。(令和4年度完了)	参加者数	60人	0人	60人	57人	午前、地域向け、午後から一般を対象として実施。アンケートを実施したところ拝殿修理完了への期待、地域の歴史・文化等の更なる調査や発表が望まれている。新型コロナウイルス感染拡大に防止により人数を絞らざるを得ない。	継続	60人 1回 15,000円 0円		満足度			
					開催数	1回	0回	1回	1回								
					開催経費	10,000円	0円	10,000円	10,000円								
					収入	0円	0円	0円	0円								
49	大山田郷土資料館企画展	教育委員会事務局 文化財課	1-I 4-I 4-II 6-I	大山田地域の文化や歴史遺産に触れ親しみ合う機会づくりの提供	参加者数			100人	354人	大山田郷土資料館の維持管理経費が少ない。令和3年度は、第1回企画展「大山田のなりたち」及び第2回企画展「大山田の風景と暮らし」を開催した。	継続	100人 2回 36,000円 0円		満足度			
					開催数			2回	2回								
					開催経費			36,000円	36,000円								
					収入			0円	0円								
50	三重大学伊賀連携フィールド市民講座	企画振興部 地域創生課	1-II 5-I 5-II 6-I	三重大学伊賀連携フィールドを拠点として、国立大学法人三重大学、上野商工会議所、伊賀市の三者間で連携協力し、教育・文化・研究の推進を図るとともに、地域振興上の諸課題に適切に対応することにより、伊賀地域の充実・発展に資する。	参加者数			1400人	6151人	実績はオンライン動画再生回数+対面開催の参加者数を記載している。オンライン配信となった講座については、以前の対面開催より多くの方に視聴いただくことができ、新しい生活様式に対応した開催方法のメリットを感じることができた。	継続	6200人 - - -	6-6 定住・関係 人口	満足度	21.1%	43.2%	41.7%
					開催数	24回	22回	-	-								
					開催経費	2,300,000円	2,300,000円	-	-								
					収入	0円	-	-	-								

【基本方針6】観光・産業との連携による文化芸術の全国発信 (施策の方向 I 文化をツールとした地域活性化、II 都市の文化的な顔づくり)																	
No.	事業名	事業課	プラン 基本方針	事業目的	R2		R3		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート				
					計画時	実績	計画時	実績					R1	R2	R3速報値		
51	伊賀上野・城下町のおひなさん	産業振興部 観光戦略課	6-I	中心市街地である城下町の風情ある街並みや観光資源をアピールし、集客交流の促進、地域の活性化や振興を目的に実施する。	参加者数	1,500人	0人	1,500人	1300人	新型コロナウイルス感染症拡大により一部事業が中止となった。今後、当事業のあり方を含め検討していく必要がある。	継続	1,500人 1回 330,000円 330,000円	3-1 観光	満足度	38.6%	53.0%	50.4%
					開催数	1回	0回	1回	1回								
					開催経費	330,000円	0円	330,000円	132,910円								
					収入	330,000円	0円	330,000円	317,307円								
52	伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら	産業振興部 観光戦略課	6-I	観光客を受け入れ事業主体を全市的に発掘・育成し、着地型観光を推進することを目的とする。	参加者数	248名	274名	2,000人	1,917人	秋に実施した「いがぶら2021」は、直前の告知時期が緊急事態宣言期間と重なり県内や生活圏を軸としたPR活動となったが、アンケートの顧客満足度は過去最高となる99%を達成した。また、全て完全予約制、少人数制での開催は、新しい生活様式が求められる時代のニーズにマッチし、参加者の安全安心志向に配慮することができたものと考えらる。	継続	13,000人 1回 8,232,000円 8,232,000円		満足度			
					開催数	1回	3回	2回	3回								
					開催経費	9,652,000円	6,073,573円	8,030,000円	7,384,711円								
					収入	9,652,000円	7,433,037円	8,030,000円	8,655,812円								
53	日本遺産 忍びの里伊賀・甲賀～リアル忍者を求めて～忍びの里伊賀甲賀忍者協議会事業	産業振興部 観光戦略課	1-II 3-II 4-II 6-I	日本遺産の認定(平成29年4月28日認定)を受けた伊賀・甲賀が世界に誇る共通の観光資源である忍者について、伊賀流と甲賀流が連携することで、広域的に観光振興を図ることを目的とする。	参加者数	域内来訪者	ガイド事業50名	来訪者	ガイド養成講座 延べ73人	日本遺産認定後、4年目を迎え忍びの里伊賀甲賀忍者協議会で作成した地域活性化計画に基づき事業を進められている。	継続	ガイド養成講座 延べ120人 3回 9,230,000円 9,230,000円		満足度			
					開催数	通年	通年	通年	5回								
					開催経費	3,579,000円	2,971,363円	6,510,000円	5,870,330円								
					収入	3,579,000円	3,587,234円	6,510,000円	6,860,302円								
54	時のからくり伊賀上野城下町(アプリ)	産業振興部 観光戦略課	6-I	当市の主要な観光コンテンツは、上野公園内の伊賀上野城と伊賀流忍者博物館の見聞中心の施設観光であるが、新型コロナウイルス対策として、3密を避けた新たな忍者体験を楽しんでもらい、観光客の回流量を高めることを目的とする	参加者数	アプリ利用者	アプリ利用者	アプリ利用者	アプリ利用者	観光庁補助事業を活用し、GPSでのトリガー発動機能を実装したことにより、昨年までの課題であった機器の設置課題は解決した。常設に向けたオペレーションの簡易化に取り組んでいく。	継続	-		満足度			
					開催数	通年	2月	通年	3月								
					開催経費	-	-	-	-								
					収入	-	-	-	-								
55	ライトアップイベントお城のまわり	産業振興部 中心市街地推進課	6-I 6-II	市街地の歴史的・文化的建造物等をライトアップすることで、地域資源のすばらしさを市民及び来街者に再確認してもらう。	参加者数	3,000人	3,000人	3,000人	-	コロナ禍において、他団体と「伊賀上野 灯りと忍びの城下町」を開催予定であったが、三重県に緊急事態宣言が発令されたことにより、中止となった。	継続 他事業との組合せ	103,000人 1回 3,110,000円 0円	3-4 中心市街地 活性化	満足度	15.2%	32.8%	29.5%
					開催数	1回	1回	1回	-								
					開催経費	1,000,000円	851,131円	1,500,000円	-								
					収入	1,000,000円	1,000,001円	1,500,000円	-								

【基本方針7】文化芸術を通じた社会的課題への取り組み (施策の方向 I 社会参加のきっかけづくり、II 協働の場の創造)																	
No.	事業名	事業課	プラン 基本方針	事業目的	R2		R3		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート				
					計画時	実績	計画時	実績					R1	R2	R3速報値		
56	人権を考える市民の集いほか(差別をなくす強調月間中の人権講演会等各地区つどい事業)	人権生活環境部 人権政策課	1-I 2-I 3-I 7-I 7-II	11月11日から12月10日の差別をなくす強調月間に、各支所において人権講演会や人権コンサートを実施し、市民の人権意識の高揚を図る。	参加者数	1,720人	390人	970人	903人	今年度までは、各支所単位の地域で開催していたが、組織再編に伴い、開催形式について見直しが必要。	継続	1,000人 5回 2,591,000円 0円	5-1 人権尊重・ 非核平和	満足度	43.8%	57.5%	59.9%
					開催数	6回	2回	6回	5回								
					開催経費	2,601,000円	2,143,000円	3,107,000円	2,547,000円								
					収入	0円	0円	0円	0円								

伊賀市文化振興プラン 事業カード提出一覧(伊賀市)

(令和4年6月1日現在)

【基本方針7】文化芸術を通じた社会的課題への取り組み(施策の方向Ⅰ 社会参加のきっかけづくり、Ⅱ 協働の場の創造)																				
No.	事業名	事業課	プラン 基本方針	事業目的	R2 計画時		R2 実績		R3 計画時		R3 実績		R3 目的達成度、課題など実施により感じたこと	R4 方向性	R4 計画時	市総合計画 施策	まちづくりアンケート			
					参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数	参加者数	開催数					満足度	R1	R2	R3速報値
57	いきいき未来いが開催事業	人権生活環境部 人権政策課	1-I 1-II 2-I 7-I 7-II	男女がともに、男女共同参画の意義・目的を学びあ い、性別に関わらずあらゆる場へ参画できる社会の実 現をめざす。	参加者数	300人	0人	300人	256人	コロナ感染防止対策として、会場を伊賀市文化 会館に変更し、例年実施していた学生の舞台や 会員による出店や展示等を中止した状態で実 施した。アンケート結果も好評であったことから、 十分な対策を取りながらも規模や質を下げるこ となく実施できたと考える。しかし開催時期の変 更(夏休み中)や舞台を中止したことで、若い世 代の参加が減少した。	継続	300人	5-1 人権尊重・ 非核平和	満足度	43.8%	57.5%	59.9%			
					開催数	1回	0回	1回	1回	開催費	655,000円	18,000円		791,000円	771,094円	972,630円	参画度	32.1%	43.0%	47.8%
58	ひゆーまんフェスタ	人権生活環境部 人権政策課	1-I 2-I 7-I 7-II	「伊賀市人権尊重都市宣言」に則り、すべての市民の 人権が保障される明るく住みよい地域社会を築くため に、市民一人ひとりが、さまざまな人権課題の解決に 向けて、さまざまな視点から学び、考え、行動するきっ かけとなること	参加者数	500人	視聴者	100人	100人	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来 場形式の開催を中止し、人権講演会等の動画 配信形式に開催内容を変更した。イベントの開 催形式について、今後も社会情勢に注意し、市 民の安心安全を第一に検討していく必要があ る。	継続	100人	5-2 同和問題	満足度	45.2%	54.9%	58.6%			
					開催数	1回	0回	1回	1回	開催費	590,000円	174,000円		589,000円	151,000円	632,000円	参画度	29.6%	45.0%	44.6%
59	崇広中学校校区地域ぐるみヒュー マンフェスタ	人権生活環境部 八幡町市民館	1-I 2-I 7-I 7-II	学校・幼稚園・保育所(園)・家庭・地域が連携し、地域 ぐるみで相互の教育力を高める実践活動を行うことを 通じて、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし ていくための豊かな人権感覚をもった子どもを育てると ともに、教育関係者・保護者などの人権を尊重する意 識を高める。	参加者数	2,000人	0人	2,000人	-	コロナ禍の影響で中止となりました。	継続	2,000人	5-2 同和問題	満足度	45.2%	54.9%	58.6%			
					開催数	1回	0回	1回	-	開催費	480,000円	0円		480,000円	0円	参画度	29.6%	45.0%	44.6%	
60	やはた文化祭【作品展示会】	人権生活環境部 八幡町市民館	1-I 1-II 2-I 2-II 7-I 7-II	八幡町市民館、久米町市民館、木興町市民館及びし ろなみ児童館、八幡町教育集会所では、1年を通して 活動してきた児童・生徒の学習や各種教室の成果発 表の場として開催することで、地域内での人権意識を 高め、周辺地域住民との交流を深める。	参加者数	300人	300人	300人	-	開催中止。	継続	300人	5-2 同和問題	満足度	45.2%	54.9%	58.6%			
					開催数	1回	1回	1回	-	開催費	180,000円	86,019円		151,000円	0円	参画度	29.6%	45.0%	44.6%	
61	ライトピアおおやまだ「梅まつり」	人権生活環境部 ライトピアおおやまだ	7-I 7-II	「一人ひとりを認め合い、地域がいきいきと輝く本当の 人権のまちづくりとは何かなどの要素を交えた演出と、 地域住民相互のふれあいや、語り合うことをとおして、 人権について学べる祭りの開催」という趣旨を大山田 から伊賀市全体に呼びかけていくこと。	参加者数	200人	0人	200人	-	新型コロナまん延防止のため、中止。	継続	100人	5-2 同和問題	満足度	45.2%	54.9%	58.6%			
					開催数	1回	0回	1回	-	開催費	435,200円	0円		435,200円	0円	参画度	29.6%	45.0%	44.6%	